

## 一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

評議員に申請をされたい方は申請書類を評議員会開催2ヶ月前までにご提出下さい。

### I. 申請資格について

下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

#### ◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定

平成6年11月18日改定

平成24年7月20日改定

平成28年8月26日改定

1. 評議員候補者は、7年以上継続した正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、原著論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

#### 付 則

1. 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
2. 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
3. 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文（審査を受けた学術論文の筆頭著者）が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
4. 申請書類の送付先は 学会支援機構内 一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会とする。

### II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請(<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>)からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

### III. 承認までの流れについて

- ① 評議員会開催2ヶ月前（7月中旬頃）までに申請書類を提出いただく。
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

#### ■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会

Tel : 03-5981-6015 (学会専用) Fax : 03-5981-6012 (学会支援機構)

E-mail : jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員長 大野 誠

## 一般社団法人日本体力医学会 平成28年度評議員会 議事録

日 時：2016年9月24日(土)

午後1時30分～午後2時30分

場 所：盛岡市民文化ホール A会場

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登, 西平賀昭, 永富良一,  
碓井外幸, 甲斐裕子, 小野寺昇,  
勝村俊仁, 栗原 敏, 後藤勝正,  
坂本静男, 下光輝一, 須田和裕,  
武政 徹, 田畑 泉, 成田和穂,  
浜岡隆文, 宮地元彦, 山内秀樹各理事,  
清田 寛, 小林康孝各監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、下記の項目について報告され、承認された。

- ・立身大会長より挨拶と第71回大会概要の報告がなされた。
- ・評議員総数539名の内、委任状提出者268名、午後1時25分現在の評議員会出席者142名で、評議員総数の過半数270名を超えており、評議員会開催が成立することが確認された。

### 【審議事項】

#### 1. 平成28年度庶務報告に関する件（鈴木理事長）

##### 1) 会員総数4,362名（2016年7月31日現在）

名誉会員	31名
正会員	4,314名
外国会員	12名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 鶴岡印刷株式会社, 公益財団法人明治安田厚生事業団, 大塚製薬株式会社, 大正製薬株式会社

##### 2) 役員数

評議員	539名
(内) 理事	25名
監事	4名

##### 3) 購読数 155団体

体力科学	150団体
JPFMS	5団体

##### 4) 年度内入退会状況

新入会員	347名
退会者	414名
(内) 申込者	186名
自然退会	228名

#### 2. 平成28年度事業報告に関する件（武政総務委員長）

以下のとおり平成28年度事業報告についての報告がなされた。

##### 1) 事業期間

2015年8月1日～2016年7月31日

##### 2) 委員会活動

###### ◎総務委員会

###### ○本学会の庶務に関する事項

学会大会時開催の評議員会および社員総会を同

時に行う評議員会兼社員総会とした。

###### ○学会大会長に関する事項

第73回大会（福井）の大会長候補者の原案（戎利光・福井工業大学教授）作成。

第74回大会（茨城）の大会長候補者の原案（田中喜代次・筑波大学教授）作成。

###### ◎編集委員会

###### ○学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS)」

Vol.4, No.3, No.4, No.5, Vol.5, No.1, No.2

「体力科学」

Vol.64, No.4, No.5, No.6, Vol.65, No.1, No.2, No.3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』を介して実施

###### ○JPFMS掲載論文リストのメール配信（Vol.4, No.5より）を開始

###### ○投稿規定の改訂

・2015.12.1

学会大会で一般研究発表された抄録を英文とし「JPFMS誌」のNo.6に掲載

倫理委員会の承認書の提出を廃止し、承認番号のみの記載とした。

英文校閲証明書の提出を廃止した。Referencesに[doi]の記載を推奨

・2016.3.1

Referencesの著者数の上限を20名に限定し、それ以上はet al.とすることにした。

・2016.7.1

論文種別一覧表に「Case Reports」を追加。（2016年7月1日に「Case Reports」を原稿種別に追加した。それ以前にはJPFMSにはなかった。（体力科学には、症例報告があった。））

###### ○委員会開催（2015.10.16）

2015年10月16日の理事会開催前に新編集委員会としての第1回編集委員会を開催し編集担当分野の確認や今後の編集委員会の活動方針などを確認した。

###### ◎学術委員会

###### ○スポーツ医学研修会実行委員会

・平成28年度（第27回）スポーツ医学研修会（Ⅰ）基礎コース（平成28年7月1～2日、於東京慈恵会医科大学）

参加者：34名

※（Ⅱ）応用コース（平成28年8月5～6日、於東京慈恵会医科大学）

参加者：32名

※修了試験（平成28年8月7日、於東京慈恵会医科大学）

受験者数：22名、合格者数：18名

###### ○称号委員会

・「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」

申請時に審査（委員会）→承認（理事会）→報告（総会）

○プロジェクト研究委員会

- 平成28年度日本体力医学会プロジェクト研究公募（平成28年1月31日迄）  
2件の応募があり、委員会で順位をつけ、理事会で1件（代表者：安田 義、神戸市立医療センター中央市民病院整形外科）を採択した。

◎財務委員会

平成29年度（平成28年8月1日～29年7月31日）予算案の作成と予算の適切な執行を確認した。

◎プログラム委員会

委員会構成を作成

◎評議員選考委員会

持ち回りの委員会により提出された資料を基に平成28年度の評議員を選考し、理事会、評議員会兼社員総会に諮った。さらに、評議員選考内規の内容をより明確な文章で表現するために、付則1）、2）および3）の内容を下記のように修正する案が提示され、承認された。

付則1）体力医学に関係する領域の研究で学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則2）日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則3）研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文（審査を受けた学術論文の筆頭著者）が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。

#二重取り消し線：旧内規付則の文言を削除した部分

下線：新たに追加した文言

◎渉外委員会

○国際交流事業

- ECSS-JPFMSM交流シンポジウム（ECSS 2016 Vienna）  
平成28年7月8日  
座長 宮地元彦、福 典之  
Genetics of sports performance and its application to health science

○国際学術交流奨励賞

- 事業年度内に国際学会で活躍をした40才以下の若手会員に授与。  
会員が参加する国際学会の多様化に対応。
- ECSS2016 Young Investigators Award受賞者の日本体力医学会大会への招聘（宮下委員担当：3名の国内旅費・宿泊費を支給）。

○国内関連学術団体との交流・連携

- 第9回アジア・オセアニア生理学会連合（東京）への協力（和気委員担当）
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連学術集会への協力について（一社）日本体育学会打診

○日本体力医学会の活動（国内外に対する“見える化”）の推進

- 脳心血管病予防に関する包括的管理チャートへの協力（小熊委員担当）  
和文解説論文「脳心血管病予防に関する包括的管理チャートについて」の英訳版Comprehensive risk management chart for the prevention of cerebro-and cardiovascular diseasesを協力各学会誌英語版への掲載を脳心血管病予防に関する包括的リスク管理合同会議より依頼された。編集委員会にJPFMSM誌への掲載について検討を依頼した。

○その他

- 現行の医学・歯学・看護の大学教育コアカリキュラムに身体活動・運動・体力を含めた生活習慣に関連する教育内容が反映されていない状況の改善に向けて関連組織や団体と協力し検討を進める。
- 現在以下の団体・組織と検討を進めている：  
日本臨床運動療法学会  
Exercise is Medicine  
栄養関連学会

◎倫理委員会

日本体力医学会会員のうち、所属施設に倫理委員会が設置されていない会員から受け付ける倫理審査申請書の詳細を定めた「規程施行に関する細則」（案）を作成した。

◎将来構想検討委員会

同委員会ミッションを「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」開催を機会に、日本体力医学会をどのように盛り上げていくかを理事会に具申すること」と考え、委員の方々のご意見をアンケート調査にて纏めて2月19日（金）の理事会に報告した。

アンケート結果の要約：

- 学会理念の確認（学会ホームページの充実）
- 学会独自の運動指針の発刊（競技・健康スポーツ、熱中症予防）
- 指針に沿った「学会開催」、「研究プロジェクト」、「新しいエビデンスの普及・啓発活動」の推進
- 機関誌（JPSFM）の充実（競技スポーツの論文の掲載など）
- 他分野の複数学会との連携強化（日本リハビリテーション医学会など）

◎広報委員会

学会ホームページのあり方について、メール会議を開催した。

◎男女共同参画推進委員会

委員会を1回開催（2015.9.18）、男女共同参画に関するシンポジウムの開催について議論した。

◎ガイドライン検討委員会

ガイドラインを策定する事項について検討した。

◎利益相反委員会

2015年11月より、体力科学ならびにJPFISMに掲載する利益相反(COI)に関する規定について慎重に論議し、その文案を確定した。

編集委員会との協議ならびに理事会での承認を経て、投稿規定を改定することを予定している。

3) 第70回日本体力医学会大会の実施

大会長：田島文博（和歌山県立医科大学教授）

会期：2015年9月18日(金)～20日(日)

会場：和歌山県民文化会館、

ホテルアバローム紀の国

4) 平成29年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®  
称号認定者

- ・新規 1名 (第14回研修会)  
大塚 聡
- ・新規 7名 (第26回研修会)  
五十嵐美生 加藤真弓 トンプソン雅子  
内藤亮太 中村秀貴 福原隆志  
筆保健一
- ・新規 10名 (第27回研修会)  
石見淳二 呉世昶 岡田敬司  
巖本哲矢 沢田秀司 田中真砂世  
土江松美 原田一志 宮本瑠美  
和田 浩
- ・継続 12名  
一場友実 江川賢一 蕪木智子  
澁澤真美 進藤大典 谷口圭吾  
中川和昌 西山正洋 長谷川芳子  
星川佳広 前岡修二 吉田泰行
- ・終身 4名  
小湊千尋 鈴木政登 三宅美知子  
吉田弘法

3. 平成28年度会計（決算）に関する件

（勝村財務委員長）

以下のとおり平成28年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約295万円、大会開催収入が約790万円、研修会収入が約61万円、広告収入が約15万円、雑収入が約4万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて100,496,224円であった。

支出の部 予算に比べて事業費は約139万円、大会開催費が約753万円、国際交流事業経費の約57万円が予算を上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、89,797,010円であった。

以上により当年度収支としては10,699,214円の黒字となり、次年度繰越金は61,416,242円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によりチェックが行われる事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われた。

4. 平成29年度事業計画に関する件（武政総務委員長）

以下のとおり平成29年度事業計画についての報告がなされた。

1) 事業期間

2016年8月1日～2017年7月31日

2) 委員会活動

◎総務委員会

第74回茨城大会の大会長候補者の推薦

◎編集委員会

○体力科学Vol.65-4～66-3（合計6号）及びJPFISM Vol.5-3～6-3（合計7号）の発行

○平成29年度より学会大会終了後に提出する抄録を英文とし、JPFISM Vol.5-6に掲載することにした。

○インパクトファクターを付けるという意味でその申請のためには原著論文を多数投稿して頂く必要がある。現在、総説の投稿が多いので、原著論文の投稿を増やしていくよう、委員会で働きかける。

◎学術委員会

○スポーツ医学研修会実行委員会

第28回スポーツ医学研修会の実施予定（学会HP・体力科学に案内文を掲載する）

○称号委員会

・日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請に基づき実施する。

・修了試験過去問題集2016年度版を刊行した。

○プロジェクト研究委員会

平成29年度より新たなプロジェクト研究募集を廃止し、現在運行中のプロジェクト研究がすべて終了する時点（2019年度）以降募集を行わないことに決定した。

◎財務委員会

平成30年度予算案の作成

◎プログラム委員会

○学会大会におけるシンポジウム（特に理事会and/or 大会実行委員会主催）の検討・開催

○日本スポーツ体育健康科学学術連合でのシンポジウムの検討・開催

◎評議員選考委員会

○大会前の機関誌にこれまで通りに評議員推薦のためのレジュメを入れ、会員に評議員の資格を徹底させ、評議員推薦を促す。

○評議員資格の見直しを行い、評議員数の増加をはかる。

◎渉外委員会

○国際交流事業

・ECSS-JPFISM交流シンポジウム（ECSS 2017 Metropolitan Ruhr）

“Challenging physical inactivity in childhood and adolescence – what cross-border evidence and issues do we have?”

平成29年7月6日 座長 永富良一

シンポジスト 鈴木宏哉（順天堂大学）、  
紙上敬太（早稲田大学）



- ・日本体力医学会国際セッション  
ECSS Young Investigator Awards受賞者3名を交えた国際学術交流セッション
- ・国際学術交流奨励賞（平成27年度新設）  
平成29年度中に参加した国際学会（国外）において優れた演題を発表した会員に授与
- ・国外関連学会との学術交流の促進
- 国内学会参加奨励制度（新規）
  - ・第9回アジア・オセアニア生理学連合（東京2020）への協力
  - ・脳心血管病予防に関する包括的管理チャート英語版のJPFISM誌への掲載
  - ・国内関連学会との学術交流の促進
- 日本体力医学会の活動（国内外に対する“見える化”）推進
  - ・広報委員会と連携
- ◎倫理委員会
  - 日本体力医学会研究倫理審査規程の制定および申請書式類の雛形の作成
  - 学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推進と監視
- ◎将来構想検討委員会
  - 学会理念の確認（学会ホームページの充実）
  - 学会独自の運動指針の発刊（競技・健康スポーツ, 熱中症予防）
  - 指針に沿った「学会開催」, 「研究プロジェクト」, 「新しいエビデンスの普及・啓発活動」の推進
  - 機関誌（JPFISM）の充実（競技スポーツの論文の掲載など）
  - 他分野の複数学会との連携強化（日本リハビリテーション医学会など）
- ◎広報委員会
  - ホームページの充実, その他本学会に関わる事項の広報活動。
- ◎男女共同参画推進委員会
  - 学会大会において  
男女共同参画に関するシンポジウムを開催する。
  - 女性の理事が当選しやすいように制度の見直しを行う。
- ◎ガイドライン検討委員会
  - 災害避難時の運動ガイド作成等, ガイドライン作成の方向性を検討する。
- ◎利益相反委員会
  - 利益相反指針の見直しと, それに基づく体力科学, JPFISM投稿規定における倫理規定の改定
- 3) 第71回日本体力医学会大会の実施  
 会長：立身政信（岩手大学保健管理センター教授）  
 会期：2016年9月23日（金）～25日（日）  
 会場：マリオス, アイーナ
- 4) 第72回日本体力医学会大会の準備  
 会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院長, 愛媛大学医学部整形外科学）  
 会期：2017年9月16日（土）～18日（月）  
 会場：愛媛大学城北キャンパス, 松山大学文京キャンパス

## 5. 平成29年度会計報告（予算）に関する件（鈴木理事長）

標記の件に関する勝村財務委員長の報告の前に、鈴木理事長より、次のような“事業見直し”について報告された。

平成21年度より年々体力医学会会員が減少し、最盛期の5221名から平成28年現在4362名に約860名減少、つまり860万円の会費収入の減収となった。平成21年度以降の不足分は学会積立金を取り崩して補填してきた。このままの推移では、約10年後には積立金が無くなる。ここで、会費収入の多かった時代に立案・実行されてきた事業を見直さなければならず、平成28年7月1日に理事会の中に“事業見直し委員会”を設置し検討を続けてきた。各事業予算を一律カットするのではなく過去の事業業績を勘案し、予算削減もしくは事業廃止を念頭に検討し、次のような結論に到った。

- ①プロジェクト研究の廃止：プロジェクト研究費として年間300万円計上されているが、例年応募数が少なく、現在進行中のプロジェクトすべて終了する2019年度以降廃止することにした。これで年間300万円削減されることになる。
- ②会員名簿のオンライン化：名簿作成費として年間200万円積み立てて来た。学会法人化に伴い従来の3年毎の名簿発行から2年毎に変更となった。紙媒体名簿作成に600万円要するにも拘らず個人情報保護の立場から氏名みの記載を望む会員が多く名簿の役割を果たしていない。そこで、経費削減の観点からオンライン化に切り替えた。多少初期投資を要したが、次年度以降管理運営費（年間42万円）のみで済み、2017年度から年間158万円の削減となる。
- ③地方会補助金減額について：現在7地方会合計で年総額285万円補助している。各地方会演題収集に苦慮している。各地方会の蓄積資産が比較的豊かである点などを勘案し、各地方会年額35万円を20万円に、関東地方会の75万円を45万円に減額することにより年120万円の削減となる。この地方会補助金削減は2017年8月1日以降の施行となる。
- ④学会大会補助金額削減について：現在学会大会開催に際し300万円補助してきたが、2020年から200万円に減額することにした。

以上、鈴木理事長により、①～④の削減案履行によって年額678万円の削減となるが、会費収入減少額をカバーするには到っていない。今後、予算削減のみならず“体力科学”投稿料の有料化、学会入会費の徴収などを視野にいたった増収により学会運営費の“プライマリーバランス”の維持に努めなければならない旨説明され、了承された。

以上の“事業見直し案”が了承されたことに基づいて、勝村財務委員長から平成29年度の予算について報告され、了承された。

## 6. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）

平成28年度評議員推薦に関しては22名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果21名の候補者が評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。

## 新評議員 (21名)

石井香織	今西平	梅田陽子
江川達郎	大西朋	鎌田真光
木下訓光	桐本光	齋藤義信
須永美歌子	武田典子	田中憲子
十枝内厚次	飛奈卓郎	稗田睦子
藤林真美	宮崎照雄	宮崎充功
宮本賢作	吉原利典	渡邊航平

7. 第72回日本体力医学会大会 (愛媛) 開催について  
(三浦裕正第72回大会長)

大会の進捗状況が報告された。

大会長：三浦裕正 (愛媛大学医学部附属病院病院長)

会期：2017年9月16日(土)～18日(月)

会場：愛媛大学, 松山大学

8. 第73回日本体力医学会大会 (福井) 開催について  
(碓井常務理事)

理事会から第73回(福井)大会長候補として戎利光先生(福井工業大学教授)が推薦されたことが報告された。

9. 第74回日本体力医学会大会 (茨城) 開催について  
(碓井常務理事)

理事会から第74回(茨城)大会長候補として田中喜代次先生(筑波大学教授)が推薦されたことが報告された。

## 10. その他

- ・戎利光第73回大会長候補代理の山田孝禎先生より挨拶があった。
- ・田中喜代次第74回大会長候補より挨拶があった。

## 一般社団法人日本体力医学会 平成28年度社員総会 議事録

日時：2016年9月24日(土)

午後1時30分～午後2時30分

場所：盛岡市民文化ホール A会場

議長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登, 西平賀昭, 永富良一,  
碓井外幸, 甲斐裕子, 小野寺昇,  
勝村俊仁, 栗原敏, 後藤勝正,  
坂本静男, 下光輝一, 須田和裕,  
武政徹, 田畑泉, 成田和穂,  
浜岡隆文, 宮地元彦, 山内秀樹各理事,  
清田寛, 小林康孝各監事

出席社員数：142名(議決権個数142個)

議事録作成者：鈴木政登

議事に先立ち、立身大会長より、挨拶と第71回大会概要の報告が行われた。

## 【審議事項】

## 1. 平成28年度庶務報告に関する件 (鈴木理事長)

## 1) 会員総数4,362名(2016年7月31日現在)

名誉会員	31名
正会員	4,314名
外国会員	12名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 鶴岡印刷株式会社, 公益財団法人明治安田厚生事業団, 大塚製薬株式会社, 大正製薬株式会社

## 2) 役員数

評議員	539名
(内) 理事	25名
監事	4名

## 3) 購読数

体力科学	150団体
JPFMSM	5団体

## 4) 年度内入退会状況

新入会員	347名
退会者	414名
(内) 申込者	186名
自然退会	228名

## 2. 平成28年度事業報告に関する件 (武政総務委員長)

以下のとおり平成28年度事業報告についての報告がなされた。

## 1) 事業期間

2015年8月1日～2016年7月31日

## 2) 委員会活動

## ◎総務委員会

## ○本学会の庶務に関する事項

学会大会時開催の評議員会および社員総会を同時に行う評議員会兼社員総会とした。

## ○学会大会長に関する事項

第73回大会(福井)の大会長候補者の原案(戎利光・福井工業大学教授)作成。

第74回大会(茨城)の大会長候補者の原案(田中喜代次・筑波大学教授)作成。

## ◎編集委員会

## ○学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol.4, No.3, No.4, No.5, Vol.5, No.1, No.2

「体力科学」

Vol.64, No.4, No.5, No.6, Vol.65, No.1, No.2, No.3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』を介して実施

○JPFMSM掲載論文リストのメール配信(Vol.4, No.5より)を開始

○投稿規定の改訂

- ・2015.12.1  
学会大会で一般研究発表された抄録を英文とし「JPFISM誌」のNo.6に掲載  
倫理委員会の承認書の提出を廃止し、承認番号のみの記載とした。  
英文校閲証明書の提出を廃止した。  
Referencesに [doi] の記載を推奨
- ・2016.3.1  
Referencesの著者数の上限を20名に限定し、それ以上はet al.とすることにした。
- ・2016.7.1  
論文種別一覧表に「Case Reports」を追加。  
(2016年7月1日に「Case Reports」を原稿種別に追加した。それ以前にはJPFISMにはなかった。(体力科学には、症例報告があった。))
- 委員会開催 (2015.10.16)  
2015年10月16日の理事会開催前に新編集委員会としての第1回編集委員会を開催し編集担当分野の確認や今後の編集委員会の活動方針などを確認した。
- ◎学術委員会
  - スポーツ医学研修会実行委員会
    - ・平成28年度(第27回)スポーツ医学研修会  
(Ⅰ)基礎コース(平成28年7月1～2日, 於東京慈恵会医科大学)  
参加者: 34名
    - ※(Ⅱ)応用コース(平成28年8月5～6日, 於東京慈恵会医科大学)  
参加者: 32名
    - ※修了試験(平成28年8月7日, 於東京慈恵会医科大学)  
受験者数: 22名, 合格者数: 18名
  - 称号委員会
    - ・「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」  
申請時に審査(委員会)→承認(理事会)→報告(総会)
  - プロジェクト研究委員会
    - ・平成28年度日本体力医学会プロジェクト研究公募(平成28年1月31日迄)  
2件の応募があり, 委員会で順位をつけ, 理事会で1件(代表者: 安田 義, 神戸市立医療センター中央市民病院整形外科)を採択した。
- ◎財務委員会  
平成29年度(平成28年8月1日～29年7月31日)予算案の作成と予算の適切な執行を確認した。
- ◎プログラム委員会  
委員会構成を作成
- ◎評議員選考委員会  
持ち回りの委員会により提出された資料を基に平成28年度の評議員を選考し, 理事会, 評議員会兼社員総会に諮った。さらに, 評議員選考内規の内容をより明確な文章で表現するために, 付則1), 2) および3) の内容を下記のように修正する案が提示され, 承認された。  
付則1) 体力医学に関係する領域の研究で学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており, 内規2を満たす研究歴と研究業績を認め, 本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する。評議員に推薦することができる。  
付則2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており, 内規2を満たす研究歴と研究業績を認め, 本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する。評議員に推薦することができる。  
付則3) 研究業績については, 原則として, 体力医学に関係する原著論文(審査を受けた学術論文の筆頭著者)が5編以上あることを基準として, 評議員選考委員会で審議する。  
#二重取り消し線: 旧内規付則の文言を削除した部分  
下線: 新たに追加した文言
- ◎渉外委員会
  - 国際交流事業
    - ・ECSS-JPFISM交流シンポジウム(ECSS 2016 Vienna)  
平成28年7月8日  
座長 宮地元彦, 福 典之  
Genetics of sports performance and its application to health science
  - 国際学術交流奨励賞
    - ・事業年度内に国際学会で活躍をした40才以下の若手会員に授与。  
会員が参加する国際学会の多様化に対応。
    - ・ECSS2016 Young Investigators Award受賞者の日本体力医学会大会への招聘(宮下委員担当: 3名の国内旅費・宿泊費を支給)。
  - 国内関連学術団体との交流・連携
    - ・第9回アジア・オセアニア生理学会連合(東京)への協力(和気委員担当)
    - ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連学術集会への協力について  
(一社)日本体育学会打診
  - 日本体力医学会の活動(国内外に対する“見える化”)の推進
    - ・脳心血管病予防に関する包括的管理チャートへの協力(小熊委員担当)  
和文解説論文「脳心血管病予防に関する包括的管理チャートについて」の英訳版Comprehensive risk management chart for the prevention of cerebro-and cardiovascular diseasesを協力各学会誌英語版への掲載を脳心血管病予防に関する包括的リスク管理合同会議より依頼された。編集委員会にJPFISM誌への掲載について検討を依頼した。
  - その他
    - ・現行の医学・歯学・看護の大学教育コアカリキュラムに身体活動・運動・体力を含めた生活習慣に関連する教育内容が反映されていない状況の改善に向けて関連組織や団体と協力



し検討を進める。

- ・現在以下の団体・組織と検討を進めている：
  - 日本臨床運動療法学会
  - Exercise is Medicine
  - 栄養関連学会

#### ◎倫理委員会

日本体力医学会会員のうち、所属施設に倫理委員会が設置されていない会員から受け付ける倫理審査申請書の詳細を定めた「規程施行に関する細則」(案)を作成した。

#### ◎将来構想検討委員会

同委員会ミッションを「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」開催を機会に、日本体力医学会をどのように盛り上げていくかを理事会に具申すること」と考え、委員の方々のご意見をアンケート調査にて纏めて2月19日(金)の理事会に報告した。

アンケート結果の要約：

- ・学会理念の確認(学会ホームページの充実)
- ・学会独自の運動指針の発刊(競技・健康スポーツ, 熱中症予防)
- ・指針に沿った「学会開催」, 「研究プロジェクト」, 「新しいエビデンスの普及・啓発活動」の推進
- ・機関誌(JPSFM)の充実(競技スポーツの論文の掲載など)
- ・他分野の複数学会との連携強化(日本リハビリテーション医学会など)

#### ◎広報委員会

学会ホームページのあり方について、メール会議を開催した。

#### ◎男女共同参画推進委員会

委員会を1回開催(2015.9.18), 男女共同参画に関するシンポジウムの開催について議論した。

#### ◎ガイドライン検討委員会

ガイドラインを策定する事項について検討した。

#### ◎利益相反委員会

2015年11月より、体力科学ならびにJPFISMに掲載する利益相反(COI)に関する規定について慎重に論議し、その文案を確定した。  
編集委員会との協議ならびに理事会での承認を経て、投稿規定を改定することを予定している。

#### 3) 第70回日本体力医学会大会の実施

大会長：田島文博(和歌山県立医科大学教授)

会期：2015年9月18日(金)～20日(日)

会場：和歌山県民文化会館、

ホテルアパローム紀の国

#### 4) 平成29年度日本体力医学会健康科学アドバイザー® 称号認定者

- ・新規 1名(第14回研修会)
  - 大塚 聡
- ・新規 7名(第26回研修会)
  - 五十嵐美生 加藤真弓 トンプソン雅子
  - 内藤亮太 中村秀貴 福原隆志
  - 筆保健一

#### ・新規 10名(第27回研修会)

石見淳二	呉世昶	岡田敬司
巖本哲矢	沢田秀司	田中真砂世
土江松美	原田一志	宮本瑠美
和田浩		

#### ・継続 12名

一場友実	江川賢一	蕪木智子
澁澤真美	進藤大典	谷口圭吾
中川和昌	西山正洋	長谷川芳子
星川佳広	前岡修二	吉田泰行

#### ・終身 4名

小湊千尋	鈴木政登	三宅美知子
吉田弘法		

#### 3. 平成28年度会計(決算)に関する件

(勝村財務委員長)

以下のとおり平成28年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約295万円、大会開催収入が約790万円、研修会収入が約61万円、広告収入が約15万円、雑収入が約4万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて100,496,224円であった。

支出の部 予算に比べて事業費は約139万円、大会開催費が約753万円、国際交流事業経費の約57万円が予算を上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、89,797,010円であった。

以上により当年度収支としては10,699,214円の黒字となり、次年度繰越金は61,416,242円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によりチェックが行われる事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われた。

#### 4. 平成29年度事業計画に関する件(武政総務委員長)

以下のとおり平成29年度事業計画についての報告がなされた。

##### 1) 事業期間

2016年8月1日～2017年7月31日

##### 2) 委員会活動

###### ◎総務委員会

第74回茨城大会の大会長候補者の推薦

###### ◎編集委員会

○体力科学 Vol.65-4～66-3(合計6号)及びJPFISM Vol.5-3～6-3(合計7号)の発行

○平成29年度より学会大会終了後に提出する抄録を英文とし、JPFISM Vol.5-6に掲載することにした。

○インパクトファクターを付けるという意味でその申請のためには原著論文を多数投稿して頂く必要がある。現在、総説の投稿が多いので、原著論文の投稿を増やしていくよう、委員会で働きかける。

###### ◎学術委員会

○スポーツ医学研修会実行委員会



- 第28回スポーツ医学研修会の実施予定（学会HP・体力科学に案内文を掲載する）
- 称号委員会
    - ・日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請に基づき実施する。
    - ・修了試験過去問題集2016年度版を刊行した。
  - プロジェクト研究委員会
    - 平成29年度より新たなプロジェクト研究募集を廃止し、現在運行中のプロジェクト研究がすべて終了する時点（2019年度）以降募集を行わないことに決定した。
  - ◎財務委員会
    - 平成30年度予算案の作成
  - ◎プログラム委員会
    - 学会大会におけるシンポジウム（特に理事会and/or 大会実行委員会主催）の検討・開催
    - 日本スポーツ体育健康科学学術連合でのシンポジウムの検討・開催
  - ◎評議員選考委員会
    - 大会前の機関誌にこれまで通りに評議員推薦のためのレジュメを入れ、会員に評議員の資格を徹底させ、評議員推薦を促す。
    - 評議員資格の見直しを行い、評議員数の増加をはかる。
  - ◎渉外委員会
    - 国際交流事業
      - ・ECSS-JPFISM交流シンポジウム（ECSS 2017 Metropolitan Ruhr）
      - “Challenging physical inactivity in childhood and adolescence – what cross-border evidence and issues do we have?”
      - 平成29年7月6日 座長 永富良一
      - シンポジスト 鈴木宏哉（順天堂大学）、紙上敬太（早稲田大学）
      - ・日本体力医学会国際セッション
      - ECSS Young Investigator Awards受賞者3名を交えた国際学術交流セッション
      - ・国際学術交流奨励賞（平成27年度新設）
      - 平成29年度中に参加した国際学会（国外）において優れた演題を発表した会員に授与
      - ・国外関連学会との学術交流の促進
    - 国内学会参加奨励制度（新規）
      - ・第9回アジア・オセアニア生理学連合（東京2020）への協力
      - ・脳心血管病予防に関する包括的管理チャート英語版のJPFISM誌への掲載
      - ・国内関連学会との学術交流の促進
    - 日本体力医学会の活動（国内外に対する“見える化”）推進
      - ・広報委員会と連携
  - ◎倫理委員会
    - 日本体力医学会研究倫理審査規程の制定および申請書式類の雛形の作成
    - 学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推進と監視
  - ◎将来構想検討委員会
    - 学会理念の確認（学会ホームページの充実）
    - 学会独自の運動指針の発刊（競技・健康スポーツ、熱中症予防）
    - 指針に沿った「学会開催」、「研究プロジェクト」、「新しいエビデンスの普及・啓発活動」の推進
    - 機関誌（JPFISM）の充実（競技スポーツの論文の掲載など）
    - 他分野の複数学会との連携強化（日本リハビリテーション医学会など）
  - ◎広報委員会
    - ホームページの充実、その他本学会に関わる事項の広報活動。
  - ◎男女共同参画推進委員会
    - 学会大会において
      - 男女共同参画に関するシンポジウムを開催する。
      - 女性の理事が当選しやすいように制度の見直しを行う。
  - ◎ガイドライン検討委員会
    - 災害避難時の運動ガイド作成等、ガイドライン作成の方向性を検討する。
  - ◎利益相反委員会
    - 利益相反指針の見直しと、それに基づく体力科学、JPFISM投稿規定における倫理規定の改定
- 3) 第71回日本体力医学会大会の実施  
 大会長：立身政信（岩手大学保健管理センター教授）  
 会 期：2016年9月23日（金）～25日（日）  
 会 場：マリオス、アイーナ
- 4) 第72回日本体力医学会大会の準備  
 大会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院院長、愛媛大学医学部整形外科学）  
 会 期：2017年9月16日（土）～18日（月）  
 会 場：愛媛大学城北キャンパス、松山大学文京キャンパス
5. 平成29年度会計報告（予算）に関する件（鈴木理事長）  
 標記の件に関する勝村財務委員長長の報告の前に、鈴木理事長より、次のような“事業見直し”について報告された。  
 平成21年度より年々体力医学会会員が減少し、最盛期の5221名から平成28年現在4362名に約860名減少、つまり860万円の会費収入の減収となった。平成21年度以降の不足分は学会積立金を取り崩して補填してきた。このままの推移では、約10年後には積立金が無くなる。ここで、会費収入の多かった時代に立案・実行されてきた事業を見直さなければならず、平成28年7月1日に理事会の中に“事業見直し委員会”を設置し検討を続けてきた。各事業予算を一律カットするのではなく過去の事業業績を勘案し、予算削減もしくは事業廃止を念頭に検討し、次のような結論に到った。
- ①プロジェクト研究の廃止：プロジェクト研究費として年間300万円計上されているが、例年応募数が少なく、現在運行中のプロジェクトすべて終了する2019年度以降廃止することにした。これで年間300万円削減されることになる。

②会員名簿のオンライン化：名簿作成費として年間200万円積み立てて来た。学会法人化に伴い従来の3年毎の名簿発行から2年毎に変更となった。紙媒体名簿作成に600万円要するにも拘らず個人情報保護の立場から氏名のみの記事を望む会員が多く名簿の役割を果たしていない。そこで、経費削減の観点からオンライン化に切り替えた。多少初期投資を要したが、次年度以降管理運営費（年間42万円）のみで済み、2017年度から年間158万円の削減となる。

③地方会補助金減額について：現在7地方会合計で年総額285万円補助している。各地方会演題収集に苦慮している。各地方会の蓄積資産が比較的豊かである点などを勘案し、各地方会年額35万円を20万円に、関東地方会の75万円を45万円に減額することにより年120万円の削減となる。この地方会補助金削減は2017年8月1日以降の施行となる。

④学会大会補助金額削減について：現在学会大会開催に際し300万円補助してきたが、2020年から200万円に減額することにした。

以上、鈴木理事長により、①～④の削減案履行によって年額678万円の削減となるが、会費収入減少額をカバーするには到っていない。今後、予算削減のみならず“体力科学”投稿料の有料化、学会入会費の徴収などを視野にいたった増収により学会運営費の“プライマリーバランス”の維持に努めなければならない旨説明され、了承された。

以上の“事業見直し案”が了承されたことに基づいて、勝村財務委員長から平成29年度の予算について報告され、了承された。

#### 6. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）

平成28年度評議員推薦に関しては22名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果21名の候補者が評議員資格を有するとの報告に基づき、評議員会にて承認された旨、報告

がなされた。

#### 新評議員（21名）

石井香織	今西平	梅田陽子
江川達郎	大西朋	鎌田真光
木下訓光	桐本光	齋藤義信
須永美歌子	武田典子	田中憲子
十枝内厚次	飛奈卓郎	稗田睦子
藤林真美	宮崎照雄	宮崎充功
宮本賢作	吉原利典	渡邊航平

#### 7. 第72回日本体力医学会大会（愛媛）開催について（三浦裕正第72回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院病院長）

会期：2017年9月16日（土）～18日（月）

会場：愛媛大学、松山大学

#### 8. 第73回日本体力医学会大会（福井）開催について（碓井常務理事）

理事会から第73回（福井）大会長候補として戎利光先生（福井工業大学教授）が推薦されたことが報告され、審議の結果、承認された。

#### 9. 第74回日本体力医学会大会（茨城）開催について（碓井常務理事）

理事会から第74回（茨城）大会長候補として田中喜代次先生（筑波大学教授）が推薦されたことが報告され、審議の結果、承認された。

#### 10. その他

・戎利光第73回大会長代理の山田孝禎先生より挨拶があった。

・田中喜代次第74回大会長より挨拶があった。

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年11月）議事録

日時：2016年11月18日（金）午後5時30分～7時00分

場所：AP品川 Wルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、  
甲斐裕子、小野寺昇、勝村俊仁、後藤勝正、  
坂本静男、下光輝一、須田和裕、竹森 重、  
武政 徹、内藤久士、成田和穂、  
山内秀樹（各理事）、小林康孝（監事）、  
立身政信（第71回大会長・岩手）、  
戎 利光（第73回大会長・福井）

欠席者：大野 誠、栗原 敏、田中喜代次、田畑 泉、  
西牟田守、能勢 博、浜岡隆文、宮地元彦、  
川原 貴（各理事）、  
井上 茂、清田 寛、定本朋子（各監事）、  
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。なお、社員総会と評議員会の議事録は、次回の理事会で議事要旨の内容確認を行うこととした。

#### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者（追加）、称号復活者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者5名の氏名リストが提示され、承認された。また、称号復活申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 3. 来年度の選挙日程等について（鈴木理事長）

配布資料に基づき、選挙管理委員会の西平賀昭業務執行役に選挙管理委員会の委員長・委員の選出を委任することが報告され、承認された。

#### 4. Web活用による選挙システム導入について（武政総務委員長）

前回の選挙にて郵送料、事務委託費等で1,782,000円の支出があった。この支出を抑えるために検討を行っており、2017年の選挙については従来通りのマークシート形式で行うが、2019年の選挙において、Web選挙に移行することについて、検討を進めていると報告された。

Web選挙の実施においては無記名投票ができるのか、投票率が低下しないかなどが懸念され、さらに、その他システム上の問題を総務委員会で検討し、理事会に報告することとなった。

#### 5. 大会演題申し込み時の年会費納入状況チェックについて（鈴木理事長）

前回からの継続審議になっている。年次大会参加申し込み時に年会費未納者のチェックについて、現在の進捗状況について報告があった。年会費納入状況の

チェックについては、学会事務局より、大会事務局が演題募集を終了した段階で、学会事務局に演題申込者の情報を送れば、年会費未納者のチェックができること、また、年度末の7月31日の時点で年会費を2年間滞納している方のリストを大会事務局に送り、演題申込者の筆頭演者の中に自然退会対象者がいるか調べてもらう事もできると提案された。

以上の提案をふまえて、総務委員会で検討することとなった。

#### 6. 大会終了後のJPFISMへの英文抄録掲載料について（鈴木理事長）

JPFISMの英文抄録の掲載料について、「体力科学」の投稿規定に基づき、会員は無料で投稿できるようにすることが提案され、承認された。

#### 7. その他

##### 1) 地方会の抄録掲載料について（武政総務委員長）

武政総務委員長より、総務委員会にて、地方会の定款をまとめ、各地方会の状況について参加費の有無、会計監査を行っているか、地方会の運用資金の使い方等を議論し、地方会の運用規則の統一を図っていくとの報告がなされた。

##### 2) 特定個人情報の取扱いに関する覚書について

事務局である学会支援機構より、国の法改正に伴い特定個人情報の取扱いに関する覚書が配布され、本契約について料金等の説明があり、審議の結果、承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 総務委員会（武政委員長）

資料に基づき、以下のように、予算削減案の提案について報告された。

##### (1) 郵送費がかかっているものをWeb化する。

①和文誌・英文誌をオンラインジャーナルにする（編集事務局の運営上の関係から、完全なオンラインジャーナル化は、当面見送ることとした）。

②和文誌・英文誌のダウンロードを有料にする。ただし会員は無料ということで、差別化を図る（有料にする場合、J-stageから別の管理サイトに委託をお願いする為、管理費用が発生してしまうので、見送ることとした）。

③選挙に際して、投票用紙の発送費を削減するため、Web投票に変更していく。

##### (2) 会員確保のための改善案

会員でいることのメリットを作り、若者に魅力ある学会にする。

①学会大会参加費の軽減

②学生の年会費の軽減（一般会員の半額など）

③和文誌・英文誌コンテンツの無料ダウンロード

④若手に「論文賞」などの賞を授与する

##### (3) 地方会への補助金の削減

理事会で承認された原案通り、2017年8月1日



以降、補助金120万円を減額とすることにした。

(4) 理事会開催通知について

理事会開催通知の印刷、発送に印刷代や郵送料が掛かるので、今後はメール配信に変更し経費削減を図りたいと提案があり、承認された。

2) 編集委員会 (後藤副委員長)

(1) 2016年9月1日～11月16日までの学会誌への新規投稿の状況について、JPFISMが9編(内、海外から3編)である(昨年度に比べて1編減少)。現在査読中の段階で、不採用は2編である。体力科学の投稿状況について投稿数が4編である(昨年度に比べて7編減少)事が報告された。

(2) JPFISMへの総説、教育講座の投稿依頼を、11名の編集委員の先生方に執筆を依頼していることが報告された。

(3) JPFISMに大会の後抄録を掲載するも、大会発表カテゴリーが体力科学とJPFISMで一致していないので、今後統一していくことについて意見が出されたが、審議の結果、大会での抄録掲載との関係から現状を維持していくことに決定した。

(4) 和文誌、欧文誌のオンライン化について

和文誌、欧文誌の完全オンライン化については、学会誌の編集事務作業を担当している鶴岡印刷株式会社の運営上の件も考慮し、当面現状維持を続けたい旨、報告された。

3) プログラム委員会 (坂本委員長)

資料に基づき、愛媛大会での本部企画シンポジウム案を検討していること、また、シンポジウムに招待する演者の謝金捻出のための協賛金獲得について、今後委員会で検討することとなった。

4) 渉外委員会 (永富委員長)

同委員会でのメール審議に基づき、オランダとの共同セッションおよびECSS交流シンポジウムについて報告された。

(1) オランダとの共同セッション

10月20日に第二回オランダ経済使節団(スポーツ科学)が来日し、スポーツ科学の2020年に向けたラウンドテーブル討論が行われた。ECSSの評議員でもある使節団代表のWillem Van Mechelenから、日蘭の学术交流についてぜひ前向きに検討して欲しいとの要望があり、Willem Van Mechelenと日本体力医学会大会で、日蘭セッションを設けられるかどうかについて協議した。運動指導者にも医療関係者にも欧州のやりかたが有効であることを紹介したいので、愛媛大会で紹介で

きるように調整を行っていく事が報告された(招聘費用については、オランダ大使館の支援が受けられるよう、調整中であることも報告された)。

(2) ECSS交流シンポジウム

ECSS Dublin 2018の交流シンポジウム公募には、1件も応募がなく、評議員の矢野博巳先生に紹介いただいた演題を取りまとめて頂き、提案を行った事が報告された。

5) 倫理委員会 (成田委員長)

資料に基づき、倫理審査の申込用紙について、審査対象者は、体力医学会会員で倫理審査ができない方々とし、年内に倫理審査規定を確定して、年明けには倫理審査を公開していくことが報告された。

2. 第71回(岩手)大会の報告(立身第71回大会長)

配布資料に基づき、以下の事項について報告がなされた。

参加総人数：1,662名

総演題数：778件

ポスター発表：769件

収支差額は614,611円の黒字決算であり、事務局に返金されることが報告された。

3. 第72回(愛媛)大会の進捗状況(鈴木理事長)

配布資料に基づき、第72回大会のポスターが出来上がったことが報告された。

4. 第73回(福井)大会の進捗状況(戎第73回大会長)

大会の準備状況等について報告があった。

会場：大会会場について、福井駅近隣のAOSSAとハピリンを現行案としていたが、選定中の大会運営業者との協議のなかで、①参加者の動線(移動距離、移動しやすさ、会場での大会参加者と一般人の区別)、②会場のキャパシティ、③運営の効率性・セキュリティなどの問題から、福井市フェニックスプラザと福井市体育館に変更する案も含めて検討中であることが報告された。大会会場案は以下の通りである。

案①AOSSA 1, 5, 6, 8階、ハピリン3階

案②福井市フェニックスプラザ、福井市体育館

会期：2018年9月7日(金)～9日(日)

5. 第74回(茨城)大会の進捗状況(武政総務委員長)

大会の事務局長が前田清司教授に決定したことが報告された。

## 第79回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：平成29年6月10日(土)、11日(日)  
会 場：香川大学研究交流棟5階(香川県高松市幸町1-1  
幸町北キャンパス 教育学部内)

### ○プログラム

1日目：平成29年6月10日(土)  
12：40～13：10 幹事会  
13：10～13：30 受付  
13：30～13：40 挨拶  
13：45～15：45 研究発表(1)  
15：45～16：00 コーヒーブレイク  
16：00～17：30 特別講演「メタボ、糖尿病予防改善の保健指導」

講師：宮武伸行先生(香川大学医学部准教授)

座長：山神眞一先生(香川大学教育学部教授)

18：00～20：00 情報交換会  
(会場：大学会館1階食堂)

2日目：平成29年6月11日(日)  
9：00～9：30 受付  
9：30～12：00 研究発表(2)  
12：00～12：30 総会

### ○学会参加、懇親会参加の申し込み

学会および懇親会の参加申込は5月12日(金)【必着】までにFaxまたはE-mailをお願いします。Faxの場合は、別紙申し込み票をご利用頂き、E-mailの場合も同様の内容をお知らせください。

### ○学会参加費

無 料(日本体力医学会の非会員者は1,000円)

### ○情報交換会費

3,000円(学生・院生：2,000円)  
※会費の支払いは、大会当日受付にてお願いします。  
会場：「大学会館1階食堂」(香川県高松市幸町1番1号 幸町北キャンパス 教育学部内)

### ○演題申し込みおよび予稿集原稿

1. 演題の申込はFaxもしくはE-mailで5月12日(金)【必着】までをお願いします。  
まず、申込の際には、以下の4項目についてお知らせ下さい。  
1. 発表者、2. 所属、  
3. 連絡先(Tel, Fax, E-mail)、4. 演題名、  
5. 幹事会出席の可否(幹事の方のみ)  
(Faxの場合は別紙申し込み票をご利用ください)

2. 予稿集の原稿を5月19日(金)【必着】までに郵送またはE-mail(ワード添付書類)でご提出ください。原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り、タイトルは18ポイント、所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。発表者が複数の場合は、演者の前に○印を付けてください。添付されたWord書類はこちらで印刷し、郵送原稿はそのまま複写します。図表も添付可能ですが、こちらで若干の修正を加えさせて頂く場合がありますのでご了承ください。

### ○一般発表について

- ・発表時間は、発表10分、質疑応答4分の計14分とします(演題数によって変更有り)。
- ・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクタはこちらで準備します。
- ・事務局側で準備するパソコンのOSおよびアプリケーションは以下の通りです。  
OS：Windows 7：Power Point 2010  
(Macintosh本体の用意はいたしません)
- ・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが、ケーブル接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします。
- ・Macintoshはプロジェクタとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参下さい。

### ○会場案内

香川大学HP：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>参照

\*本学は、幸町地区、林町地区、三木町医学部地区、三木町農学部地区にキャンパスがございますが、会場は幸町北キャンパス・教育学部内です。お間違えないようにお気をつけください。

\*車でもお越し頂けます。教育学部正門(東側)からお入りください。(経済学部・法学部がある幸町キャンパス(南)入口とお間違えの無いように！)

\*学内の駐車場は無料ですが、駐車スペースは十分ではございません。満車により、近隣の有料駐車場にお停めいただく可能性もございます。

### ○宿泊施設

「高松市内」のホテルは、大学および繁華街に近く、お勧めです。繁華街から大学までは徒歩で20分程度です。詳しくはインターネット等でお調べいただき、各自で手配をお願いします。

### ○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて6月18日(日)【必着】までに地方会事務局の方へお送りください。なお、筆頭著者は日本体力医学会の会員に限られますが、共著者はその限りではありません。

掲載原稿送付先：jpsfm@mw.kawasaki-m.ac.jp  
(地方会事務局)

### (提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名、発表者名、所属名、本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください(演題名、発表者名、所属名、本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

### ○問合せ等

〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1  
香川大学医学部医学教育学 住谷和則 宛  
TEL：087-891-2442 FAX：087-891-2442  
E-mail：sumitani@kms.ac.jp

## 第28回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健康者や生活習慣病罹患患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了解下さい。昨年度は諸事情によりテーピング実習を行いませんでしたが、本年度は実施致します。また、応用コースの2日目最後に「研究計画の作成に関するグループワーク」も新たなプログラムとして追加しました。多数の方のご参加をお待ちしております。

平成28年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内 秀樹 太田 眞 木村 真規 進藤 大典 成田 和穂 湊 久美子 山口 眞紀

### 1. 会 場

東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室など

### 2. 日時および研修内容

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

平成29年6月30日(金)	9:00~10:30	運動と神経・筋
	10:40~12:10	運動と呼吸
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	運動と代謝
	14:50~16:20	運動と栄養
	16:30~18:00	運動と循環
平成29年7月1日(土)	9:00~10:30	運動処方の基礎
	10:40~12:10	高血圧および心血管疾患の運動処方
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	生活習慣病の運動処方
	14:50~16:20	運動器疾患の運動処方
	16:30~18:00	運動による認知症の予防・改善
	18:15~	懇親会（会費3000円、参加自由）

#### (II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、近赤外分光装置を用いた運動時の筋酸素化動態のチェック、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習、研究計画の作成に関するグループワークも行います。



平成29年8月4日(金)	9:00~12:10	運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験, 心電図記録, 筋有酸素能検査, 呼吸機能検査, 体組成測定実習）
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~17:00	救急救命実習（人体模型を用いた実習）
平成29年8月5日(土)	9:00~12:10	運動処方の実際（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し, 実施する） スポーツ傷害に対するテーピング実習
	12:10~13:10	昼休み
	13:10~14:40	スポーツ傷害予防のための筋力トレーニング実習
	14:50~16:20	研究計画の作成に関するグループワーク

注意：講師の都合により講義時間割りを変更する場合がありますのでご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は平成29年8月6日(日) 10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集（正解/解説付）」(税込：2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

### 5. 受講料

受講料は（Ⅰ）基礎コース、（Ⅱ）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F

一般社団法人 学会支援機構内

日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012

E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

---

## 第28回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申します。(該当する□にレ印をつけて下さい。)

第28回 基礎コース

第28回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_

## 編 集 後 記

体力科学第66巻2号(2017)をお届けいたします。本号には総説2編、原著論文3編を掲載することができました。是非とも精読頂ければ幸いです。

掲載した総説の内容は、糖質制限が競技パフォーマンスに及ぼす影響に関するもの、フレイル・サルコペニアの縦断的な疫学調査研究に関するものです。また、原著論文では地域の高齢者における身体機能評価を用いた認知機能低下者を抽出する方法の検討、歩行運動の介入が高齢者の睡眠に与える影響に関するもの、そしてスタティックストレッチングが腓腹筋筋腱複合体の筋力やスタティフネスに及ぼす影響についてストレッチングの時間や反復回数の違いから検討したものです。この内、4編は生活習慣、食事・栄養、運動不足、筋肉・筋力の低下や高齢者など現代社会が抱える健康問題の解決に寄与するものであります。いずれの論文も研究分野が多岐にわたる体力医学会会員の皆様に提供できる優れた論文であります。投稿頂きました著者の皆様には深く御礼申し上げますとともに、日々の教育・研究活動でお忙しい中、専門的な視点から厳格な査読を頂きました先生方に心より感謝申し上げます。

さて、英文誌「JPFISM」誌には当該年度の日本体力医学会大会の一般演題が英文抄録としてVol.5 No.6より掲載されることになりました。「JPFISM」誌が2012年5月に発刊され4年が経過し、ようやく英文抄録が掲載され

る運びとなりました。そもそも、機関誌の英文誌化は本学会の長年の悲願でありました。先行して「JPFISM」誌にはReview Article, Short Review Article, Regular Articleなどが掲載され、「体力やスポーツ医学に関する研究成果」を広く海外に紹介し、健康・体力向上に貢献すると共に本学会会員の研究水準を高めることを目的としています。並んで、一般演題として発表された多くの研究内容が英文として掲載されることは、本誌の目的から見ましても意義のあることと考えます。第71回大会において600以上もの一般演題が発表され、英文掲載される運びとなったことは嬉しい限りです。

J-STAGEの統計によりますと、「JPFISM」誌へのアクセス件数は年々、増加傾向にあり、本英文誌へのアクセス数は2015年9月からの1年間で5.5万件を超え、その内、米国からのアクセス数は日本での数を上回り、約3万件と第1位となっております。国内からのアクセスのみならず欧米や東南アジア等の諸外国からのアクセス数の多さは「JPFISM」誌への期待の大きさを示すものと感じております。英文抄録の掲載を機に国の内外からのアクセス、さらにはRegular Articleへの投稿数の増加に繋がることを期待するものです。

小宮 秀明

## The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.66, No.2

### 体 力 科 学 第 66 巻 第 2 号

平成 29 年 3 月 25 日 印 刷

平成 29 年 4 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

田 中 喜 代 次  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社